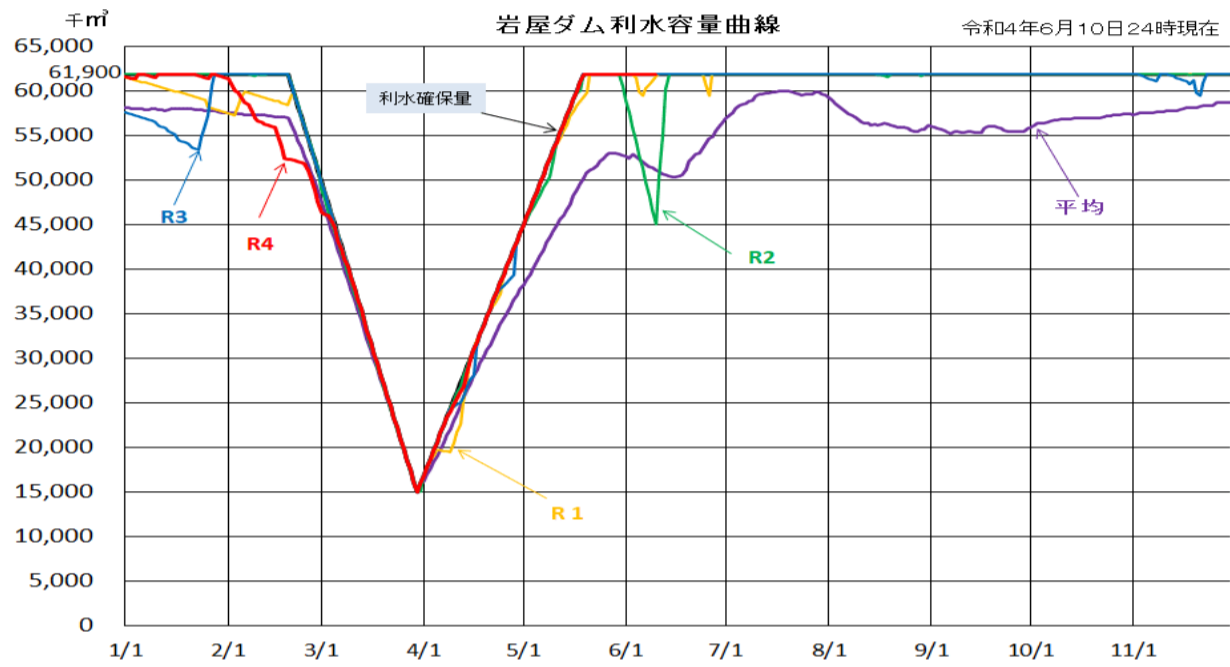




岩屋ダム利水貯水量 6,190万トン（貯水率100%）
 農業用水取水量 1,087万トン（取水率25.9%）（ともに6月10日現在）

田植えもほぼ終わられて、利水者の皆様には忙しい農作業も一段落のことと思います。田植えの終わった田んぼでは、あちらこちらでカエルが競うように鳴きはじめました。夜になると川沿いでホタルを見かけるようになりませんが、環境が変わったせいか最近ではめっきり少なくなってしまいました。さて、14日に東海地方も梅雨入りしましたが、例年に比べると8日程遅くなりました。4月以降の降水量は例年より少なく、貯水率の低下を心配しましたが、現在の岩屋ダムの利水貯水量は計画通り満水状態になっています。これから本格的なかんがい期が始まり水需要が増してきますので、引き続き今後の気象、貯水状況には十分注視していく必要があると考えております。



一方、農業用水取水量は、6月10日現在1,087万トン（取水率25.9%）で、過去3か年の平均取水量より166万トン程増加しており、これは、5月中の雨量が例年より減少したことが考えられます。

右岸用水における農業用水の年間総取水量には定められた数値(4,190万トン)がありますので、引き続き、河川、ため池等の地区内水源を最優先に利用して頂くとともに、降雨時には給水栓を閉めなど、右岸用水の有効活用にご協力を頂きますようお願いいたします。

◇定期監査を実施

5月18日（水）、木村総括監事、小栗監事による定期（第1回中間）監査を連合事務所にて行って頂きました。今年度の「監査計画の樹立について」は原案のとおりご承認頂きました。また、昨年の12月から今年4月までの新旧年度の出納検査については、諸帳簿の整理状況及び証拠書類を照合等し、終始熱心に審査され、特に指摘事項もなく承認されました。



◇ヤギさん除草隊、今年も大活躍

水資源機構美濃加茂管理所では、今年も蜂屋調整池及び上飯田調整池で、ヤギによる除草を行っています。



これは、除草経費の削減にも繋がりますが、他にも景観保全や堤体の目視確認など管理する上ではとても大切な仕事です。今年もヤギの移動は地元業者に委託しており、調整池にはそれぞれ4頭のヤギが入り、5月～6月の晴れた日に活躍します。

この除草は10月～12月にも予定されています。

◇『中干し節水』実施にご協力を

右岸用水の有効利用と過剰分けつを抑制し、根を活性化させて倒伏しにくい丈夫な稲を作るためにも『中干し節水』の実施にご理解とご協力をお願いします。

早植え田	中干し	6/20～6/24（5日間）	美濃加茂市・坂祝町・富加町・七宗町・八百津町・関市
		6/25～6/29（5日間）	川辺町
普通植え田	早期中干し	6/25～6/29（5日間）	川辺町